

5・19 最賃デー中央行動

最低賃金の引き上げで 貧困の解消と景気の回復を！



5月19日、早朝8時新橋駅前宣伝行動を皮切りに、5・19 最賃デー中央行動に生協労連最賃闘争本部メンバーを中心に、全国から71名のなかまが参加しました。

早朝宣伝行動では、最賃闘争本部メンバーらが、最賃引き上げこそが、景気の回復につながることを、全国どこで暮らしても、生活にかかる費用はかわらないことなどを訴えました。



静岡で、生計費調査を始めましたが、東京も静岡も生活にかかる費用は変わりません。こんなに低い最賃では暮らせません。
しずおか 佐伯さん



九州は全国一最賃が低く、629円です。フルタイムで1カ月働いても100,640円です。最賃で1カ月暮らしてみましたが、人間らしい暮らしはできませんか
ごしま 福丸さん

早朝宣伝行動後は、参議院議員への要請行動をおこない「最低賃金法を抜本改正し、最低賃金額を1000円以上に引き上げること」を要請しました。

午後からおこなわれた、厚生労働省前要求行動、5・19中央総決起集会では、最賃闘争本部メンバーが生協労連を代表して発言しました。



厚労省前では、エフコープの中野さんが発言。11月から議員要請を毎月おこなってきましたが、年明けからの民主党議員の態度はあまりにもひどすぎます。昨年の選挙で掲げたマニフェスト最低賃金の引き上げをきちんと守ってほしい。

中央決起集会では、かながわの安部さんが決意表明。生協労連では最賃闘争本部を設置し、毎月行動しています。私たちパートやアルバイトで働いている人の実態をしっかりと最賃審議会に伝えていかなければなりません。がんばります！



最賃闘争本部は全員登壇



壇上にはこの間取りくまれた署名の山

